

大阪湾沿岸

兵庫県の大阪湾沿岸は、明石海峡より東側、神戸市から尼崎市の約190kmにまたがる沿岸です。

この沿岸の中央部から東部に、日本の代表的な国際貿易港の神戸港や尼崎西宮芦屋港を有しています。これらの港の発展とともに背後地は、国際貿易都市神戸市、阪神工業地帯の尼崎市など阪神都市圏の中心地となり、我が国の経済・社会・文化の発展に重要な役割を果たしてきました。

また西部には、整備された砂浜を持つ須磨海岸があり、背後には須磨浦公園、また近くには神戸市営海釣り公園が設けられ、都市圏に近いことから例年、海水浴客や釣り客が多数訪れています。

平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災でこの沿岸は大きな被害を受けました。そこで震災を教訓に、耐震強化岸壁など防災機能の強化を図り、地域の防災拠点としての整備を進めています。



甲子園浜海浜公園(西宮市)

尼崎地区

海拔ゼロメートル地帯を高潮から守るため、第一線防潮ラインの尼崎閘門、排水施設及び防潮堤の改良や補強を重点的に整備しています。

特に重要な施設である尼崎閘門の改良は、昭和61年度に着手し、平成5年度に1基を完成して、2基目の閘門も平成14年3月に完成しました。また、運河・水路部では「運河水路活性化基本計画(リフレッシュポートあまがさき)」に基づき、護岸の安全性の確保にあわせて快適性を高めるために施設の高質化を図っています。



尼崎閘門(尼崎市)



尼崎運河地区

西宮地区

甲子園浜は都市部の貴重な砂浜の残された海岸で県民の憩いの場となっており、ウィンドサーフィンをはじめ多くの海岸利用者でにぎわっています。そこで、防潮堤の改良については、新しい海岸環境の創出を図り快適で魅力ある海岸とするため、「ふるさと海岸整備事業」により堤防の緩傾斜化や遊歩道などの整備を行い、平成5年度に完了したところで、その後多くの県民に利用されています。



甲子園浜海浜公園(西宮市)

御前浜は阪神間唯一の自然海岸で、県の鳥獣保護地区に指定されています。



御前浜(西宮市)

芦屋地区

芦屋地区においては、堤体を緩傾斜化することで耐震性の向上を図り、併せて背後の良好な住宅地に調和した親水性のある護岸の改良を進めています。



芦屋浜(芦屋市)